

令和5年度

事業計画書及び収支予算書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

目指します!!

「地域経済の持続的発展」

大府商工会議所

大府商工会議所憲章

大府商工会議所は、“大府ブランドを世界に”の崇高なビジョンの下、時代の流れを読み、世界に発信できる“大府ブランド”の創造に向け、地域経済の活性化と「住んで良し」「訪れて良し」の魅力ある地域づくりに、地域一丸となって取り組みます。

<基本理念>

我々は、地域の総合経済団体として、会員企業・事業所の繁栄を市民・地域の繁栄につなげることにより、「地域経済の持続的発展」を目指します。

<行動規範>

我々は、「情熱」と「使命感」を持ち、
失敗を恐れず、
「チャレンジ精神」をモットーに、
スピード感をもって行動することを誓います。

平成31年4月1日

大府商工会議所

目 次

はじめに	1
------------	---

I 事業計画

1 基本理念	2
2 活動方針	2
(1)会員企業のニーズを踏まえた経営改善支援	2
(2)地域の賑わい創出・ブランド化への貢献	2
(3)経済界や地域の声を的確に反映した行政への提言と要請	2
(4)親しまれる商工会議所の実現	2
3 活動のねらいと主要実施事項	2
(1)企業の経営基盤安定化と地域経済の元気回復	2
(2)「持続可能なものづくり集積地」の形成	2
(3)「健康で働きやすい持続可能な経営」の実現	3
(4)「持続可能なまちづくり」の推進	3
(5)商工会議所の基盤強化	4
4 会議	4
5 部会活動	4
6 事業所に寄り添った経営支援	6
7 実施事項	7

II 収支予算

1 総括表	19
2 一般会計収支予算書	20
3 中小企業相談所特別会計収支予算書	23
4 共済事業特別会計収支予算書	25
5 労働保険事務組合一般会計収支予算書	26
6 特定退職金共済事業特別会計収支予算書	27
7 商品券事業特別会計収支予算書	28
8 財政調整資金積立金特別会計収支予算書	29
9 退職給与資金積立金特別会計収支予算書	30
10 労働保険事務組合労働保険料特別会計収支予算書	31

はじめに

2022年の実質 GDP 成長率は、前年比 1.1%で2年連続のプラス成長となりました。人の流れが戻りつつある現在、景況感にも持ち直しの動きがみられます。また、先行きについては、5月のゴールデンウィーク明けに予定されている新型コロナウイルス感染症の5類移行やインバウンドの回復などから明るさが期待できますが、物価上昇や供給面での制約の影響が懸念されるところです。

足元の物価上昇は、コロナ禍で疲弊した経済の回復を進める上ではネガティブな要因ですが、経済成長、物価上昇、賃金上昇の好循環へと向かう契機と前向きにとらえて、地域や各事業所・企業の事業環境に応じて、対応して行かねばならないと考えます。

大府商工会議所が掲げる「地域経済の持続的発展」を推進する最大のエンジンは、雇用の7割を占め、地域コミュニティを支える中小企業・小規模事業者の活力強化にほかなりません。大府商工会議所では従来から、大府市、愛知県、国並びに日本商工会議所をはじめとする関係機関と連携して、販路の拡大や生産性の向上、事業再構築・再生・再チャレンジによる収益力回復、事業承継、創業支援などに、事業者に伴走する形で取り組んでおります。令和5年度も引き続きこうした取り組みにより、事業者の経営基盤の安定化に努めてまいります。併せて、地域経済の好循環を生み出す魅力のある街づくりにも積極的に取り組んでまいります。

大府市始め関係諸団体には変わらぬご支援・ご協力を、また、各部会・委員会・支部・青年部・女性会には、一丸となった活動をお願いいたします。

最後に、令和5年度の具体的な事業展開に当たっては、令和4年度の実績と評価を踏まえて、PDCAをしっかりと回してまいります。これにより、会員事業所・企業の事業繁栄と地域経済の持続的発展を目指してまいります。

I 事業計画

1 基本理念

「地域経済の持続的発展」

～ 会員企業・事業所の繁栄を市民・地域の繁栄に ～

2 活動方針

(1) 会員企業のニーズを踏まえた経営改善支援

時代の変化を読み、地域のニーズや特性を踏まえながら、人・モノ・情報・資金などの限られた経営資源をフルに活用して、会員企業・事業者の持続的繁栄を支援します。

(2) 地域の賑わい創出・ブランド化への貢献

「企業・事業者の繁栄」が「地域の賑わい」につながり、それがまた「企業・事業者の繁栄」につながる上昇型の関係を作ります。また、地域の担い手である行政・農業者・教育研究機関・市民団体・住民などと連携して、地域資源の更なる発掘と活用に努めます。

(3) 経済界や地域の声を的確に反映した行政への提言と要請

地域のオピニオンリーダーとして、企業・事業者の経営課題や地域課題の解決に向けて、積極的な政策提言や要請活動を実施します。

(4) 親しまれる商工会議所の実現

会員ファースト・会員目線で時代や環境の変化に即応した事業・サービスを展開して成果を上げ、会員の皆様の満足度を高めます。そして、会議所の組織率や財政力を高め、会議所自体においても持続的な発展を目指します。

3 活動のねらいと主要実施事項

(1) 企業の経営基盤安定化と地域経済の元気回復



コロナ禍や物価上昇に苦しむ中小企業・小規模事業者への伴走型支援により、経営基盤の安定化と地域経済の元気回復を目指します。

■ 専門家による経営相談体制強化の継続

■ 巡回・窓口指導の拡充

■ インボイス制度・電子帳簿保存法の対応

■ 販路開拓支援(ふるさと納税品の発掘・開発)

※下線__新規・変更事項

(2) 「持続可能なものづくり集積地」の形成



大府の強みである「ものづくり」の集積を高め繁栄させることにより、地域経済の持続的発展を実現するとともに、地域の社会課題の解決にも貢献します。

- 経営計画の策定支援
- 生産現場の生産性向上支援(生産性向上支援訓練の活用)
- 融資・補助制度等の紹介と活用支援
- ものづくり人材の確保と育成支援
- 現場人材養成塾の検討
- リスクマネジメント支援
- 橋本実践塾(2S+省エネ活動)
- 省エネルギー設備導入支援
- SDGsの取り組み支援

(3) 「健康で働きやすい持続可能な経営」の実現



重要な経営資源である優秀な人材を確保し続けることができる、労働環境・職場づくり等を通して、収益性が高く健全で持続可能な企業を育成します。

- 健康経営の普及・啓発と事業所間の交流促進
- 経営発達支援計画に基づく小規模事業者支援
- 人材の確保と育成支援
- 創業・第二創業・事業承継の支援
- 女性活躍推進の普及・啓発

(4) 「持続可能なまちづくり」の推進



生産性を向上させると共に、優秀な人材を呼び込み、定住させることのできる質の高いインフラ整備により、持続可能な経済成長と健康、衛生、防災・減災、環境などの社会課題の解決に努めます。

- 都市基盤の現状整理と評価
- 地域で共有する都市ビジョンの具体化(意見交換会による意識の共有化)
- 部会、委員会、支部活動の活性化
- 夏まつり等地域イベントへの積極的関与
- 地域資源を活用した賑わい創出
- 環境・食料など様々な社会課題の解決に向けた研究
- 販路開拓支援(移動販売車の有効活用)

(5) 商工会議所の基盤強化

- 事業・サービスの満足度向上
- 商工会議所の生産性向上と活動の見える化
- 組織・財政基盤の強化

4 会 議

名 称		内 容
主 要 会 議	議員総会	通常2回（5月、3月）
	常議員会	定例4回（5月、9月、11月、3月）
	正副会頭会議	年12回以上（毎月開催）
	幹部会議	年1回以上
	本支部連絡会議	年2回以上
	監事会	年1回以上
委 員 会	常設委員会 ①総務 ②会員拡大 ③地域開発	必要に応じて正副委員長会議、合同委員会などを開催
	特別委員会 新ビジョン推進特別委員会	随時開催
	金融審査会	随時開催

5 部会活動

部会名	実施事項(実施予定月)
商 業	部会会議 ・役員会開催（7月、3月）、合同分科会開催（毎月1回） 個店の魅力創出 ・逸品運動の実施、東浦との広域連携（通年） ・逸品展示会の実施 個店のファンづくり ・「ふれあいゼミナール」の推進（夏、冬） 個店のレベルアップ ・「大府あきんど塾」の開催

商 業	販路開拓、にぎわい創出 ・視察研修の実施（随時） ・大府駅西金曜マルシェの開催（毎週金曜日） ・大府みどり公園へのキッチンカー出店支援（随時） ・1分PR動画作成事業（随時） ・大府市ふるさと納税品の発掘（随時） ・SNSによる情報発信（随時） ・大府駅、共和駅周辺の賑わい創出事業（随時） ・地域イベント（おおぶ桜ハナモモ花めぐり、つつじまつり、産業文化まつり、夏まつり等）への協力（随時） ・プレミアム商品券事業への協力（随時） その他 ・行政への要請とりまとめ（7月）
製造業	部会会議 ・役員会開催（7月、3月） 職場環境改善、生産性向上 ・「橋本実践塾」の実施（通年） ・「生産性1.5倍塾」の実施（9月～12月） ・IT導入補助金セミナーの実施（7～8月頃） ・安全体感道場の開催（2～3月頃） ・市内企業視察等の実施（1～2回 ※時期は未定） ・商談会等への参加 ・現場人材養成塾の検討 その他 ・行政への要請とりまとめ（7月）
建設業	部会会議 ・役員会開催（6月、2月） 住宅修繕相談事業 ・「住宅修繕相談」実施（通年 第2・4水曜日） ・「火災警報器・家具転倒防止金具の取付」実施（9月） 資質向上 ・視察研修実施（随時） ・講習会実施（随時） 奉仕活動 ・市内清掃活動（12月） その他 ・行政への要請とりまとめ（7月）
情報・物流・サービス業	部会会議 ・役員会開催（6月、3月） 資質向上 ・セミナー（講習会） 「(オンデマンド配信) WEBセミナー」の実施（通年） 「リアル形式セミナー（講習会）」の実施（9月、11月） ・視察研修等の実施（随時） その他 ・行政への要請とりまとめ（7月）

6 事業所に寄り添った経営支援

事業所経営のステージに応じたきめ細かな支援により、事業所の持続的発展を目指す。

段階	目 標	取組内容	手 法
創業期	起 業	市場調査支援 事業計画作成支援 金融支援など	1. 準備 行政や日商など他団体の支援 情報・先進事例の収集・研究 2. 周知・啓発（情報発信） 会報、HP、会議、巡回・窓口 指導など 3. 動機づけ（集団支援） 講演会、研修、セミナー、視 察、相談会、商談会、交流会 など 4. 実践（個別支援） 個別相談、専門家相談、専門 家派遣など 5. フォローアップ 巡回指導（経営状況把握） 6. 会議所の対応が難しい場合士 業や県関係機関などの紹介・ 斡旋
確立期	発 展 ・ 飛 躍	記帳指導 税務指導 金融支援 販路開拓支援など	
成長期	安 定 ・ 改 善	経営改革支援 新商品開発支援 新事業展開支援 販路開拓支援	
衰退期	再 生 ・ 承 継	事業再生支援 事業承継支援 廃業支援	

7 実施事項

項 目			令和5年度 内 容 下線_新規・変更事項	令和5年度 手 段・目 標 下線_新規・変更事項
企 業 の 経 営 基 盤 安 定 化 と 地 域 経 済 の 元 気 回 復	・ 新型コロナウイルス感染症の影響に苦しむ中小企業・小規模事業者への伴走支援により、経営基盤の安定化と地域経済の元気回復を目指す	1 タイムリーかつ迅速な情報提供	・ 国、県、市等の各種補助金、助成金等支援策の迅速な情報提供	・ 会報・HP等にて周知を図るとともに、必要に応じてセミナー・個別相談を実施して個社支援に繋げる
		2 相談窓口の強化	・ 国、県、市等の各種補助金、助成金等の申請支援 ・ 窓口・巡回相談の拡充(拡充) ・ インボイス制度への対応	・ 国の補助事業等の紹介や専門家による個別相談を拡充して申請を支援 ・ 窓口・巡回相談を延べ1,800回実施し、経営基盤強化を図る (ふるさと納税品発掘・開発、先端設備導入計画申請支援)
		3 経営計画作成支援等の拡充	・ ウイズコロナ、アフターコロナに対応した経営計画書作成支援	・ 経営計画作成セミナー (目標：年2回、参加者数各10名)
		4 支援施策等の要請	・ 事業所の実態に沿った行政への要請	・ 市議会議員と当所(支部や部会等)との意見交換の機会を設けとりまとめを実施し、効果的な行政への要請を行う。
		5 青年部・女性会の活動支援	・ 地域を元気付けるイベントの開催 ・ <u>会員自身の資質向上を目指す研修会、交流を深める事業の実施</u>	(青年部・女性会共通) ・ 各種地域の祭りへの参加 <青年部> ・ 産文まつりでの職業体験会、地域活性化事業、研修会、交流会の実施 ・ <女性会> 研修会、他女性会との交流会の実施
		6 地域経済の活性化支援	・ プレミアム商品券発行 ・ 新たな販売方法の検討	・ 市と調整のうえ、商品券発行事業を実施。 ・ 大府駅西金曜マルシェ等キッチンカー事業の発展的運用 ・ <u>移動販売車の有効活用</u> (目標：利用事業所10件)
		7 ワクチン接種支援	・ ワクチン接種支援	・ 新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが2類から5類へ変更となるため実施しない。
「持続可能なものづくり集積地」の形成	・ 経営計画の策定支援	1 小規模事業者の経営計画策定支援	・ 小規模事業者の持続的発展に繋がる経営計画策定支援(再掲)	・ 経営計画作成セミナー (目標：年2回、参加者数各10名) (再掲)
	・ 生産現場の生産性向上支援	2 攻めのIT活用	・ 生産性向上に繋げる生産現場のIT・IoT化支援	・ 生産性向上を目標に企業の意向調査を行いその結果に基づき支援 (DX推進や新技術導入支援等)を実施する ・ IT活用による生産性向上セミナー等を開催、実業・実態との課題抽出

重点	新規	活動方針				令和4年度の実績と評価		担当部署
		経営支援	にぎわい創出	要請	親しまれる会議所	◎	○	
						◎	○	
						△	×	
						：事業を実施できなかった 3 合計56(再掲除く)		
●		○			○	○	○	相談所
●		○			○	○	○	相談所
●		○			○	○	○	相談所
●				○	○	○	○	総務企画課
●		○			○	◎	○	相談所
●		○			○	◎	○	相談所・総務企画課
						×	×	総務企画課
		○			○	○	○	相談所
●		○			○	○	○	相談所

項 目			令和5年度 内 容 下線_新規・変更事項	令和5年度 手 段・目 標 下線_新規・変更事項
「 持 続 可 能 な も の づ く り 集 積 地 」 の 形 成	・ 融資・補助制度等の紹介と活用支援 ・ ものづくり人材の確保と育成支援 ・ リスクマネジメント支援	2 攻めのIT活用	・ 付加価値や生産性の向上を図る補助金の活用支援(持続化補助金、事業再構築補助金他)	・ 各省庁の支援事業を把握したうえで、周知を図り、個社の付加価値や生産性向上を図る事業化を支援 (目標：持続化補助金他40件)
			・ ITリテラシー習得セミナーの実施	・ 現場支援のためのIT習得セミナーを実施
			・ 経営セミナー無料配信サービスの拡充	・ 社会経済情勢に対応した多様なコンテンツを盛り込んだWebセミナーを配信し活用を促す。
		3 攻めの新分野・新産業進出	・ 愛知県スタートアップ推進事業との連携	・ 大府市や愛知県スタートアップ推進課と連携し、大府市内へのステーションAiサテライトの誘致に向けて活動
			・ 創業・第二創業・事業承継の促進	・ 実践創業塾や創業個別相談会等を開催して、創業者への助言・指導を積極的に実施する。 ・ <u>事業承継を考えている会員事業者に大府市・刈谷市共同開催の「事業承継 個別相談会」を紹介、活用する。</u>
		4 攻めの販路拡大	・ 販路拡大展示会出展者への出展支援	・ アライアンスパートナー、地域商談会への参加呼びかけ
			・ 新たな販路を開拓するため東浦町商工会との連携による展示会開催	・ イオンモール東浦にて逸品展示会を開催 (目標：参加事業所数10社)
			・ デリバリー事業の見直し	・ <u>コロナ需要の減少によるデリバリーシステムの見直し</u>
			・ 新たな販売方法の検討(再掲)	・ 大府駅西金曜マルシェ(再掲)
			・ 大府市ふるさと納税品の発掘・開発支援	・ 大府市ふるさと納税品の発掘・開発支援
		5 資金調達支援	・ 政府系金融・市内金融機関と連携した金融支援及び各種助成制度活用支援	・ 日本政策金融公庫および市内金融機関と連携して、借入を希望する事業者を支援 (目標：24件)
		6 ものづくり人材支援	・ 現場リーダーの育成塾「橋本実践塾(省エネを通じたカーボンニュートラルへの取組み)」開催	・ 事業所から塾生を募集。各事業所において2S(整理・整頓)をベースに当該事業所のニーズに合った改善をメンバー全員で実践し学習する。 ・ 活動方法は昨年度と同じく4名の2グループでの活動を計画する。 <u>新たに塾長の後任を迎え育成する。(目標：塾生出席率100%)</u>
			・ 職業訓練校等の活用	・ ポリテクセンターや高等技術専門学校などの活用による人材育成支援(会報・HP等で周知)
		7 リスクマネジメント支援	・ リスク管理能力の向上	・ リスク管理セミナーの実施
			・ 事業活動における賠償リスク、業務災害等に備えた日商保険制度の周知	・ 日商広告データ等を活用して、会報掲載等により周知

重点	新規	活動方針				令和4年度の実績と評価		担当部署
		経営支援	にぎわい創出	要請	親しまれる会議所	◎ ○ △ ×	：目標を上回って達成できた 8 ：目標をほぼ達成できた 35 ：目標は達成できなかった 10 ：事業を実施できなかった 3 合計56(再掲除く)	
●		○			○	△	・ 小規模事業者持続化補助金申請支援 15件 ・ 事業再構築補助金申請支援 2件 ・ 事業承継補助金申請支援 1件	相談所
		○			○	○	・ ビジネスカレッジにて、「DXの推進」について講義を行った。 ・ IT導入補助金セミナーを実施 8名参加 ・ 知多メディアスネットワーク(株)と共催し、個別相談会を実施 1社参加(再掲)	相談所
		○			○	○	・ 「一般経営」「研修・人材育成」「労務」「税務・経理」「実務家」など多様な700以上のオンデマンドセミナーの無料配信を実施。アクセス数1,757(令和5年1月31日現在)。	相談所
			○	○		×	・ 新たな取り組みをすることが出来なかった。 ・ 来年度は、関係機関と連携を図り新たな展開を図る。	相談所
●	●	○			○	○	・ 実践創業塾(申込者24名、参加者24名、全講座出席者13名) ・ 創業個別相談会(令和4年10月から12月まで月1回・計3回実施。延相談者数2名) ・ 事業承継相談窓口の設置を検討。(大府市・刈谷市・大府商工会議所・刈谷商工会議所)愛知県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し毎月1回大府市・刈谷市輪番にて、令和5年2月より開始する。	相談所
		○		○	○	△	・ 感染対策を徹底しアライアンスパートナーを実施。積極的に呼びかけを行ったが昨年に比べ参加企業数は減少(4社)。実施後の満足度は高かった。	相談所
		○	○		○	○	・ 1月28日、29日にイオンモール東浦にて逸品展示会を開催。9事業所が参加、来場者は1,000名。	相談所
		○			○	○	・ 大府発のデリバリーシステム「大府めしクルー」のサービスを実施。市内13店舗が参加(再掲)	相談所
		○	○			○	・ 毎週金曜日、大府駅西口にてキッチンカーによる新たな販売の取り組みを開始。市内10店舗が参加した。(再掲)	相談所
●		○			○	○	・ 会報にてふるさと納税返礼品の登録事業者を募集し、市と連携して事業者への支援により7件の登録が完了した。	相談所
		○		○	○	△	・ 新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少および創業希望者からの相談を受けて、個別相談会を実施し資金調達を支援した。(公庫12件、保証協会4件)	相談所
		○			○	○	・ 令和4年度はコロナ感染防止に留意しながら4名の2グループでの活動を継続することができた。従来1会場で4回の活動回数であったが、活動の更なる充実をねらい、今年度から5回とした。 ・ 今年度よりカーボンニュートラルへの取り組みとして各活動テーマに省エネを1件とりあげるようにしてもらった。これにより節電やエアー漏れ対策などの効果が得られ、他の改善テーマも含めて、各参加事業所に満足してもらえる成果をあげることができた。	相談所
		○			○	○	・ ポリテクセンター中部が実施する機械の実践技術研修などの受講案内を会報折込にて全会員へ周知した。 ・ ものづくりマイスター派遣事業を会報記事にて全会員へ周知した。	相談所
		○			○	○	・ 会報9月号にて防災危機管理eカレッジ及び災害支援バンクHelpan171について掲載し、全会員へ周知した。	相談所
		○			○	○	・ 会報8月号日商業務災害・9月号に小規模企業共済を掲載。12月号にビジネス総合プラン、3月号に業務災害のチラシを同封した。 ・ 会報9月号にて防災危機管理eカレッジ及び災害支援バンクHelpan171について掲載し、全会員へ周知した。(再掲)	相談所

項 目			令和5年度 内 容 下線_新規・変更事項	令和5年度 手 段・目 標 下線_新規・変更事項
「地」の のづくり の形成 の集積	・環境・食料など様々な社会課題の 解決に向けた研究	7 リスクマネジメント支 援	・大規模災害に備えた事業所での食料備蓄の推 進(ヘルパン171)	・会報、ウェブサイト等で周知 年2回のP R (目標: 20口)
		8 カーボンニュートラル (大府市カーボン ニュートラル宣言)に 向けた啓発・支援	・環境に配慮した経営の啓発・支援 ・橋本実践塾(省エネを通したカーボンニュー トラルへの取り組み)(再掲)	・SDGsカードゲーム、セミナーの開催に よる周知と個別支援(目標: 5 社) ・積極的に取り組む事業所の掘り起し と会報等によるPR(目標: 3 社)
「健康で 働きやすい 持続可能な 経営」の 実現	・働きやすい職場づくりの支援と働 き方改革関連法の周知	1 従業員の心と体の健康 推進	・行政、協会けんぽ等と連携したの健康経営施 策の普及	・健康経営の個社支援(目標: 5社) ・潜在事業所の掘り起し(目標: 10社) ・健康経営支援事業の募集(目標: 5社)
		2 職場環境の健康を推進	・働き方改革関連法の周知と対応相談	・愛知働き方改革推進支援センターとの 連携による情報提供・相談窓口の紹介 (会報・HP等で周知)
			・中小・小規模事業者向け定期健康診断の実施	・中京サテライトクリニックによる集団 検診 (目標: 年2回、受診者340名)
	・経営発達支援計画に基づく小規模 事業者支援	3 持続可能な事業所経営 の推進	・的確な支援のための実態調査とニーズ把握	・会員アンケートの実施による管内事業 者の現状・支援ニーズの把握
			・経営発達支援計画に基づいた小規模事業者等 への段階的な支援 (再掲)	・経営計画作成セミナー (目標: 年2回、参加者数各10名) (再掲)
			・経営革新申請、ものづくり補助金申請事業所 の発掘	・コーディネーターと連携した管内事業 者の掘り起こし・相談対応 (目標: 20件)
	・人材の確保と育成支援	4 人材確保、定着、育成 支援	・オンライン対応の採用活動(合同説明会・面 接)支援	・雇対協と協力してオンラインでの採用 活動に必要な環境設備及び見せ方の工 夫等を学ぶセミナーの実施
			・雇用対策協議会、知多地域学生就職情報セン ター、産業雇用安定センター、ポリテクセン ターと連携した人材確保支援	・雇対協就職イベントの協力
			・中核人材育成の為のセミナーを企画	・大府ビジネスカレッジの開催
			・ハローワークや市と連携した中途・キャリア 人材向け就職説明会の開催	・雇対協就職イベントの協力
			・女性、シニア、外国人の活用支援	・女性の活躍促進宣言、あいち女性輝き カンパニーの普及(目標: 5社)
			・インターンシップ促進に向けた調査	・会員で実施している企業への聞き取り

重点	新規	活動方針				令和4年度の取組と評価		担当部署
		経営支援	にぎわい創出	要請	親しまれる会議所	◎ ○ △ ×	：目標を上回って達成できた 8 ：目標をほぼ達成できた 35 ：目標は達成できなかった 10 ：事業を実施できなかった 3 合計56(再掲除く)	
		○		○	○	△	・ 会議等で周知をし、2事業所から合計14口の申込があった。	相談所
●		○		○	○	△	・ SDGsに取り組む市内事業所(星和化成株式会社)の会報特集を掲載	総務企画課
●		○		○	○	◎	・ 前年のアンケート調査を基にした個社ヒアリング(4事業所) → 名古屋工業大学、健康科学総合センター連携 ・ 健康経営セミナーの開催(大府市・協会けんぽ共催) → 参加者22事業所 27名 WEBとリアルハイブリッド開催 ・ 健康経営実践企業交流会(大府市・協会けんぽ共催) → 12事業所(満足度100%) ・ 会報による健康経営に取り組む市内事業所の紹介(2事業所) ・ 健康経営個社支援(1事業所) ・ 健康経営お助けホットライン発行(4,500部) ・ 大府商工会議所健康経営優良法人認定の更新	総務企画課 ・ 相談所
●		○			○	○	・ 働き方改革推進支援センターについて会報折込にて周知した。	相談所
		○			○	◎	・ 10/17、11/34の2回実施 受診者363名	相談所
		○			○	○	・ 働き方改革推進支援センターについて会報折込にて周知した。(再掲) 支援制度等を会報に記事掲載し周知した。(働き方セミナー、メンタルヘルス相談、健康診断補助、働きやすい企業表彰など)	相談所
●		○			○	○	・ 3年以内に加入した会員事業所を訪問し、各種支援策、共済等の紹介をすると共に事業所のニーズ把握に努めた。(会員アンケートは、次年度も継続実施し、会員ニーズを図る)	相談所
		○			○	○	・ 新型コロナ事業環境変化個別相談を実施し、給付金・補助金など各種支援策に対応(4月5日～1月26日まで計46回開催、延相談件数91件)(再掲)	相談所
		○			○	△	・ 経営革新2件、持続化補助金15件、事業再構築補助金2件	相談所
		○			○	△	・ 雇対協と協力して、zoom上で採用セミナー(1回)を実施した。	相談所
		○			○	○	・ 雇対協に協力し、大学・高校の就活状況のヒアリング、就職フェア(3回)を実施した。 ・ 会報誌にて、雇対協の案内を周知した。	相談所
		○			○	○	・ リアル形式を採用し、感染症対策をしながら実施することが出来た。(延4回、延47名参加)	相談所
		○			○	○	・ 雇対協に協力し、大学・高校の就活状況のヒアリング、企業見学会、就職フェア(3回)を実施した。	相談所
	●	○			○		・ 刈谷市と合同で就職フェアを実施した。	相談所
		○			○		・ 豊橋技科科学大学と連携したインターンシップを実施した。	相談所

項 目			令和5年度 内 容 下線_新規・変更事項	令和5年度 手 段・目 標 下線_新規・変更事項
「健康で働きやすい持続可能な経営」の実現	・ 創業、第二創業、事業承継の支援	4 人材確保、定着、育成支援	・ 簿記・珠算検定試験の実施	・ ホームページや会報にて周知し受験者数を確保 (目標：簿記検定 1級8名・2級36名・3級36名/回、珠算検定 1級7名・2級10名・3級10名/回)
		5 創業、第二創業、事業承継の支援	・ 創業・第二創業・事業承継の促進(再掲)	・ 実践創業塾や創業個別相談会等を開催して、創業者への助言・指導を積極的に実施する。 ・ <u>事業承継を考えている会員事業者に大府市・刈谷市共同開催の「事業承継 個別相談会」を紹介、活用する。(再掲)</u>
「持続可能なまちづくり」の推進	・ 地域で共有する都市ビジョンの具体化	1 都市ビジョンの共有	・ 第6次大府市総合計画や第4次大府市都市計画マスタープランの実現に向けた取組み	・ 行政と連携した都市ビジョンの具体化 ・ 支部、市議会との懇談会による意見交換の実施
			・ 地域開発委員会での検討	・ 当地域として参考となる先進事例を学ぶ勉強会、現地視察などを実施
			・ 正副会頭と支部との意見交換会の実施	・ 支部、市議会との懇談会による意見交換の実施 ・ 本支部連絡会議の開催(1～2回)
	・ 部会、委員会、支部の活性化	2 ハード・ソフトインフラの整備に向けた検討	・ 第6次大府市総合計画や第4次大府市都市計画マスタープランの実現に向けた取組み(再掲)	・ 行政と連携した都市ビジョンの具体化 ・ 支部、市議会との懇談会による意見交換(再掲)
			・ 行政への提言・要請(再掲) ・ <u>都市基盤の現状整理と評価</u>	・ 市議会議員と当所(支部や部会等)との意見交換の機会を設けとりまとめを実施し、効果的な行政への要請を行う。 (再掲) ・ <u>大府の道路事情調査</u>
			・ 正副会頭と支部との意見交換会の実施(再掲)	・ 行政と連携した都市ビジョンの具体化 ・ 支部、市議会との懇談会による意見交換(再掲)
		3 まちのにぎわい創出	・ 第6次大府市総合計画や第4次大府市都市計画マスタープランの実現に向けた取組み(再掲)	・ 行政と連携した都市ビジョンの具体化 ・ 支部、市議会との懇談会による意見交換(再掲)
			・ 6次産業化の調査研究(ぶどうビール、オリブオイル、納豆、木の山芋等)	・ 市内及び他市町の地域産品調査の実施
			・ 支部事業強化による交流事業の充実	・ 新型コロナの感染リスクに配慮したイベント・交流事業の実施

重点	新規	活動方針				令和4年度の取組と評価		担当部署
		経営支援	にぎわい創出	要請	親しまれる会議所	◎ ○ △ ×	：目標を上回って達成できた 8 ：目標をほぼ達成できた 35 ：目標は達成できなかった 10 ：事業を実施できなかった 3 合計56(再掲除く)	
			○		○	○	- 簿記検定においては、令和3年度より受験申込受付をインターネットのみに変更したことにより、受験者および職員の新型コロナウイルス感染リスク軽減・事務負担の軽減につながった。 - 昨年度同様、感染症対策ガイドラインにより、受験者同士の距離を確保するため、定員も通常の二分之一に削減し実施。しかし、簿記検定の制度改正により3級のみ2回転実施し、通常の定員数を確保することが出来た。 簿記 延3回 178名+2月受験者数受験 珠算等 延3回 162名受験	相談所
●	●	○			○	○	- 実践創業塾（申込者24名、参加者24名、全講座出席者13名） - 創業個別相談会（令和4年10月から12月まで月1回・計3回実施。延相談者数3名） - 事業承継相談窓口の設置を検討。（大府市・刈谷市・大府商工会議所・刈谷商工会議所）愛知県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し毎月1回大府市・刈谷市輪番にて、令和5年2月より開始。（再掲）	相談所
●				○	○	○	- 市の事業・取組に対する要請(9月20日) - 各支部と市議会議員との懇談会の実施。（吉森6/17、共長6/20、大府6/28、横北6/30） - 正副会頭と大府市議会市民クラブ(12月19日)との意見交換会の実施（再掲）	総務企画課
				○	○	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施の見通し立たず未実施。	相談所
●				○	○	○	- 各支部懇談会の実施。（吉森6/17、共長6/20、大府6/28、横北6/30） - 幹部会議の開催(1回) 8/5	総務企画課
●				○	○	○	- 市の事業・取組に対する要請(9月20日) - 各支部懇談会の実施。（吉森6/17、共長6/20、大府6/28、横北6/30） - 大府市議会市民クラブ(12月19日)意見交換会の実施。（再掲）	総務企画課
●	●			○	○	○	- 市の事業・取組に対する要請(9月20日) - 各支部懇談会の実施。（吉森6/17、共長6/20、大府6/28、横北6/30） - 大府市議会市民クラブ(12月19日)意見交換会の実施。（再掲）	総務企画課
●					○	○	各支部と市議会議員との懇談会の実施。（吉森6/17、共長6/20、大府6/28、横北6/30）(再掲)	総務企画課
●				○	○	○	- 市の事業・取組に対する要請(9月20日) - 各支部と市議会議員との懇談会の実施。（吉森6/17、共長6/20、大府6/28、横北6/30） - 正副会頭と大府市議会市民クラブ(12月19日)との意見交換会の実施。（再掲）	総務企画課
			○		○	○	逸品活動(IPPIN-LABO)にて、ぶどうビール及び地域の伝統野菜である「木の山芋」を使用した食事の周知・販売を行い地域産品の情報発信に努めた。	相談所
			○		○	△	新型コロナウイルスに配慮しながら各支部会員交流事業を実施。	相談所

項 目			令和5年度 内 容 下線_新規・変更事項	令和5年度 手 段・目 標 下線_新規・変更事項
「持 続 可 能 な ま ち づ く り」 の 推 進	・ 大府商工会議所創立20周年記念事業 ・ 環境・食料まど様々な社会課題の 解決に向けた研究	3 まちのにぎわい創出	・ 青年部・女性会・支部・観光協会・その他関係団体等と連携した"にぎわい"創出事業	（青年部・女性会共通） ・ 各種地域の祭りへの参加 ＜青年部＞ ・ 産文まつりでの職業体験会、地域活性化事業、研修会、交流会の実施 ＜女性会＞ 研修会、他女性会との交流会の実施
			・ 文化芸術イベントの開催	・ 広く市民を対象にした芸術イベントの開催(目標：1回)
			・ ウェルネスバレー・ヘルスケア産業の創出	・ ウェルネスバレーブランド事業の推進（制度の周知を実施）
			・ 「おおぶ桜ハナモモ花めぐり」実施による観光資源の磨き上げ ・ 「バイオリンの街大府」実施による観光資源としての磨き上げ ・ 夏まつり等地域イベントへの積極的関与 大倉和親と大倉陶園展(仮称)の開催	・ おおぶ桜ハナモモ花めぐりライトアップイベントの開催 ・ バイオリン秋イベントの開催 ・ 夏まつりの順調な企画・運営 大倉和親と大倉陶園展(仮称)の開催
			・ 正副会頭と支部との意見交換会の実施(再掲)	・ 支部、市議会との懇談会による意見交換(再掲) ・ 本支部連絡会議の開催(1～2回)(再掲)
		4 カーボンニュートラル (大府市カーボン ニュートラル宣言)に 向けた検討（再掲）	・ 環境に配慮した経営の支援(再掲)	・ SDGsカードゲーム、セミナーの開催による周知と個別支援(目標：5社) ・ 積極的に取り組む事業所の掘り起しと会報等によるPR(目標：3社) (再掲)
商 工 会 議 所 基 盤 強 化		1 事業・サービスの満足 度向上	・ 会員メリットの見える化による会員満足度向上	・ 新生活様式に合わせた会員交流会の開催 (目標：3回)
			・ メディア掲載数拡大に向けたプレスリリースの質的向上及び当所広報強化	・ 会員含め、行政・関係団体等との情報共有を密にし、有益な情報を発信 ・ メディアとの定期的な情報交換
			・ 正副会頭と支部との意見交換会の実施(再掲)	・ 支部、市議会との懇談会による意見交換(再掲) ・ 本支部連絡会議の開催(1～2回)(再掲)
			・ 現場主義、双方向主義の徹底	・ 巡回・窓口相談での事業者ニーズの掘り起こし
			・ 会議所活動の見える化による会議所利用促進	・ ホームページ更新・SNSや会議所案内パンフレットの活用
		2 商工会議所の生産性向上と活動の見える化	・ 所内の生産性向上(業務の効率化)	・ 手続き、書類等の見直し(目標：5件) ・ 業務内容の見直し(目標：5件)
			・ 目標管理等の導入検討	・ 人事考課制度の実施
			・ 商工会議所自体の働き方改革、健康経営の推進	・ 福利厚生健康事業展開(目標：3件) ・ 健康習慣アンケートの実施 ・ 健康課題解決に向けた取り組み（セミナー、体験会）の実施(目標：2回) ・ 「健康経営優良法人2024」認定申請 ・ 産業医によるストレスチェック実施
			・ 事務業務の棚卸とシステム化	・ IT専門家による事務業務の棚卸 ・ 個別事務マニュアル作成と新システム導入
			・ 各メディア掲載数拡大に向けたプレスリリースの質的向上及び当所広報強化(再掲)	・ 会員含め、行政・関係団体等との情報共有を密にし、有益な情報を発信 ・ メディアとの定期的な情報交換(再掲)
			・ ニーズの多様化や専門化に対応する職員能力の向上	・ 中小企業大学校の専門研修受講 日商等のオンラインセミナー・説明会の受講 ・ 日本商工会議所We b研修効果測定の実施

重点	新規	活動方針				令和4年度の実績と評価		担当部署
		経営支援	にぎわい創出	要請	親しまれる会議所	◎ ○ △ ×	：目標を上回って達成できた 8 ：目標をほぼ達成できた 35 ：目標は達成できなかった 10 ：事業を実施できなかった 3 合計56(再掲除く)	
			○		○	◎	(青年部・女性会共通) ・制限はあったものの例年通りに近い形で地域の祭りが開催された。 ・周年事業においても事務局の積極的な支援もあり完遂し、メンバーとの繋がりが強化できた。(再掲)	相談所
			○		○	◎	・創立20周年記念事業として大倉陶園展を1/21～3/12大府市歴史民俗資料館にて実施。2/5記念講演会実施。	総務企画課
		○			○	○	・ブランド申請事業所無し。 ・ウェルネスバレーヘルスケア産業振興WGに参加。医療、福祉施設と意見交換を行い、ニーズの把握に努めた。	相談所
●●●			○		○	○	・おおぶ桜ハナモモ花めぐりライトアップイベント(3/19-4/10)の開催、花めぐりウォーキング(4/2)の開催。 「バイオリン／フィドル音楽の休日」プレイベント(5/14、15)の開催、本イベント(10/22、23)の開催。	相談所
●					○	○	・各支部と市議会議員との懇談会の実施。 (吉森6/17、共長6/20、大府6/28、横北6/30)(再掲)	総務企画課
●		○		○	○	△	・SDGsに取組む市内事業所(星和化成株式会社)の会報特集を掲載。	総務企画課
		○			○	○	・逸品展示会(イオン東浦)と共催で、新入会員交流会を開催(令和5年1月28日)15事業所が参加。	総務企画課
●		○			○	○	・記事掲載件数39件 ・情報交換会開催(令和4年8月10日)	総務企画課
●					○	○	・各支部と市議会議員との懇談会の実施。(吉森6/17、共長6/20、大府6/28、横北6/30)(再掲)	総務企画課
●		○			○	○	・3年以内に加入した会員事業所を訪問し、各種支援策を紹介すると共に事業所のニーズ把握に努めた。(再掲)	相談所・ 総務企画課
●		○			○	○	・HP改修・SNSや会議所案内パンフレットを作成し、会議所の利用促進を図った。	相談所・ 総務企画課
					○	◎	・手続き、書類等見直し(5件) 文書保存規程、請求書様式等 ・業務内容・環境の見直し(4件) 請求方法、業務手順、IT化等	総務企画課 ・相談所
					○	○	・人事考課制度の本格的運用を実施	総務企画課
	●				○	○	・大府市健康プログラムの参加費補助。 ・ストレスチェックの実施。 ・健康習慣アンケート、健康づくりセミナー(3月開催予定)の実施 ・健康経営アドバイザー資格取得。 ・「健康経営優良法人2023」認定申請。 ・産業医によるストレスチェック診断を実施。	総務企画課
●					○	◎	・IT専門家の支援のもと、会員管理システムの刷新を実施した。 ・業務内容見直し(4件) ・手続き、書面等の見直し(5件)	総務企画課
●		○			○	○	・記事掲載件数39件 ・情報交換会開催(令和4年8月10日)	総務企画課
					○	○	・中小企業大学校の専門研修「小規模・超小規模M&Aによる事業承継支援の進め方」を経営指導員が受講。 ・日商・県等関係機関が開催する各種説明会・研修会に参加。	相談所

項 目			令和5年度 内 容 下線_新規・変更事項	令和5年度 手 段・目 標 下線_新規・変更事項
商 工 会 議 所 基 盤 強 化	3 組織・財政基盤の強化		・ 部会、委員会、支部活動の活性化	・ 活動の前提となる実態調査やニーズの把握 ・ 行政等の支援施策等や先進事例の収集、研究 ・ 調査研究活動の会員への還元
			・ 議員総会、常議員会等運営の改善	・ 参加者の活発な発言を誘導 ・ リモート開催を可能とする体制づくり
			・ 各種共済制度等への加入促進、食料備蓄の推進(ヘルパン171)による手数料確保	・ 会報・HP・チラシでの周知 ・ 新規会員（加入3年まで）への当所取扱共済（保険）の周知徹底 ・ 風車共済制度の推進および独自給付制度利用促進等、巡回による加入者へのアフターフォロー（目標：15件）
			・ 会員、会費収入の拡大	・ 定期的な事業所巡回訪問の実施 ・ 加入特典等の検討 ・ 新会議所リーフレット、HPを活用した会議所事業のPR実施(非会員勧奨)
			・ 労働保険制度の周知及び加入勧奨	・ 会報、HPでの周知 ・ 窓口相談、巡回での周知
			・ 業務災害補償プラン制度の周知	・ 会報・HP・チラシでの周知 ・ 保険未加入事業所へのスポット周知 ・ セミナー開催時での周知 ・ 職員への制度や手続きスキーム説明
			・ 共済制度の周知及び加入推進	・ 会報・HP・チラシでの周知 ・ 新規会員（加入3年まで）への当所取扱共済（保険）の周知徹底 ・ 風車共済制度の推進および独自給付制度利用促進等、巡回による加入者へのアフターフォロー（目標：15件）（再掲）
			・ 新規会員への会議所活用の周知	・ 新規会員に対する訪問の強化 ・ 既存会員への巡回強化
	4 創立20周年記念事業の実施		—	—

重点	新規	活動方針				令和4年度の取組と評価		担当部署
		経営 支援	にぎわ い創出	要請	親しま れる会 議所	◎ ○ △ ×	：目標を上回って達成できた 8 ：目標をほぼ達成できた 35 ：目標は達成できなかった 10 ：事業を実施できなかった 3 合計56(再掲除く)	
					○	△	・ 新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら各種事業を実施。	相談所・ 総務企画課
					○	○	・ 情報交換の時間を設け発言を促した結果、活動状況等の報告が行われた。 ・ オンライン（Zoom）とリアルのハイブリッド開催を円滑に実施することが出来た。	総務企画課
					○	○	・ 会報記事や同封チラシにて、周知を図る。 ・ 共済担当者と連携を図り、共済および当所取扱い保険等の加入勧奨やフォローを行った。 ・ 新規加入者、青年部を中心に、訪問・電話にて風車共済の案内を行った。 ・ 風車共済加入事業所に訪問・電話し、新型コロナウイルス感染による入院見舞金など独自給付制度を中心とした活用を促した。	総務企画課 ・ 相談所
●					○	○	・ おぶちゃん商品券に参加した非会員事業所への加入勧奨実施。 ・ 各種補助金、助成金、協力金等の申請支援による加入勧奨実施。 ・ 令和5年1月31日(会員数1,731、組織率53.7%) ・ 令和4年3月31日(会員数1,732、組織率54.2%) 注) 組織率特別会員含まず。	総務企画課 ・ 相談所
					○	○	・ 会報9月号に一人親方保険記事掲載。	相談所・ 総務企画課
					○	○	・ 会報、セミナー等により業務災害補償プラン制度及び会員割引について周知を図った。	相談所・ 総務企画課
					○	○	・ 会報記事や同封チラシにて、周知を図る。 ・ 共済担当者と連携を図り、共済および当所取扱い保険等の加入勧奨やフォローを行った。 ・ 新規加入者を中心に、訪問・電話にて風車共済の案内を行った。 ・ 風車共済加入事業所に訪問・電話し、新型コロナウイルス感染による入院見舞金など独自給付制度を中心とした活用を促した。 (再掲)	総務企画課 ・ 相談所
●					○	○	・ 昨年度新たに作成した「会議所活用ガイド」(リーフレット)を用い、新規会員(加入3年未満)のみならず、既存会員への巡回も実施した。	総務企画課 ・ 相談所
					○	◎	・ 創立20周年のロゴマーク・スローガン「20年に感謝、そして未来へ。」を作成。9/16記念式典、20周年を祝う各種事業を実施。「おおぶ桜ハナモモ花めぐり」「花めぐりデジタルスタンプラリー」「おぶちゃん商品券」「デジタルスタンプラリー」「移動販売車製作」「記念植樹」「記念ソフトボール大会」「大倉陶園展」	総務企画課 ・ 相談所

Ⅱ 収支予算

令和5年度 収支予算総括表

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

(単位:千円)

会 計 区 分		本年度予算額	前年度予算額	対比増減(△)
1	一般会計	120,204	132,564	△ 12,360
2	中小企業相談所特別会計	89,551	95,721	△ 6,170
3	共済事業特別会計	28,821	35,501	△ 6,680
4	労働保険事務組合一般会計	9,203	8,706	497
5	特定退職金共済事業特別会計	7,617	8,312	△ 695
6	街路灯特別会計	0	8,181	△ 8,181
7	商品券事業特別会計	257,401	185,301	72,100
	小 計	512,797	474,286	38,511
8	財政調整資金積立金特別会計	207,985	207,913	72
9	退職給与資金積立金特別会計	88,682	82,016	6,666
	小 計	296,667	289,929	6,738
10	労働保険事務組合労働保険料特別会計	70,000	61,000	9,000
	合 計	879,464	825,215	54,249

令和5年度 一般会計収支予算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 会費		58,280	58,300	△ 20	
	1. 一般会費	39,500	39,300	200	
	2. 特別会費	18,780	19,000	△ 220	役員・議員特別会費
2. 加入金		100	0	100	
	1. 加入金	100	0	100	
3. 事業収入		9,270	9,330	△ 60	
	1. 事業賦課金	4,140	4,470	△ 330	1. 役員研修参加負担金 20,000円×20名 400 2. 部会研修参加負担金 4部会 60 3. 講習会等参加負担金 げんき商店街参加負担金 680 大府ビジネスカレッジ参加負担金 80 ビジネスセミナー参加負担金 80 生産性向上支援セミナー参加負担金 30 4. その他事業負担金 優良従業員表彰、議員懇談会等 410 5. 産業文化まつり出展者負担金 2,000 6. 新年賀詞交歓会参加負担金 2,000円×200名 400
	2. 検定事業収入	1,000	930	70	珠算、簿記
	3. 広告料収入	2,100	1,900	200	会報・チラシ・封筒広告料
	4. 手数料収入	2,030	2,030	0	1. 団体事務代行手数料 大府ライオンズクラブ 大府ロータリークラブ 1,750 半田法人会大府支部 2. その他 リサイクル業務受託、Helpan等 280
4. 交付金		15,083	15,733	△ 650	
	1. 補助金	15,083	15,733	△ 650	1. 小規模育成指導費補助金(市) 6,283 2. 産業文化まつり交付金(市) 2,800 3. げんき商店街推進事業費補助金(県・市) 3,000 4. あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金(県) 3,000
5. 雑収入		171	201	△ 30	
	1. 預金利子	1	1	0	
	2. 雑収入	170	200	△ 30	
6. 繰入金		18,000	25,000	△ 7,000	
	1. 共済事業特別会計繰入金	17,000	24,000	△ 7,000	
	2. 労働保険事務組合一般会計繰入金	1,000	0	1,000	
	3. 特定退職金共済事業特別会計繰入金	0	1,000	△ 1,000	
7. 繰越金		19,300	24,000	△ 4,700	
	1. 前期繰越金	19,300	24,000	△ 4,700	
合 計		120,204	132,564	△ 12,360	

支出の部

(単位:千円)

勘定科目			本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項	目				
1. 事業費	1. 一般事業費		43,900	56,630	△ 12,730	
		1. 企画調整費	6,100	6,150	△ 50	1. 商工業活性化ビジョン推進費 1,400 2. 役員研修事業費 1,000 3. 地域振興費 1,650 4. 支部活動費 1,900 5. 会員加入勧奨推進費 150
		2. 調査広報費	6,160	5,500	660	1. 会報発刊費 3,360 2. 情報資料配布費 2,800
		3. 商工業振興費	7,150	5,010	2,140	1. 部会・委員会活動費 800 2. 部会調査研究費 700 3. 検定事業費 220 4. 住宅修繕相談事業費 290 5. 法定台帳整備費 130 6. ビジネスマッチング事業費 120 7. 産学官連携推進事業費 650 8. 橋本実践塾(職場の改善)事業費 3,900 9. 大府ビジネスカレッジ(旧社会人学舎) 140 10. 防災事業費 50 11. 会員交流会事業費 110 12. 生産性向上支援セミナー事業費 40
		4. 労務対策費	1,490	970	520	1. ゴルフ委員会関係費 20 2. 優良従業員表彰事業費 350 3. 健康経営推進事業費 1,080 4. ビジネスセミナー事業費 40
		5. 情報化対策費	5,000	6,500	△ 1,500	所内情報環境整備
		6. 産業文化まつり事業費	5,600	6,200	△ 600	産業文化まつり設営費、イベント費、運営管理費
		7. 青年部・女性会活動費	2,400	2,400	0	
		8. げんき商店街推進事業費	6,100	6,000	100	ふれあいゼミナール、逸品運動、あきんど塾
		9. まちづくり検討事業費	600	600	0	
		10. 花めぐり事業費	3,300	3,300	0	
		11. 大府商工会議所創立20周年事業費	0	14,000	△ 14,000	
2. 管理費			56,500	55,720	780	
	1. 給与費		25,350	25,750	△ 400	
		1. 給料	16,550	17,700	△ 1,150	4名
		2. 諸手当	2,100	1,650	450	地域手当、通勤手当、管理職手当、扶養手当、住居手当
		3. 期末勤勉手当	4,600	4,400	200	
		4. その他人件費	2,100	2,000	100	
	2. 時間外勤務手当		2,000	2,000	0	
		1. 時間外勤務手当	2,000	2,000	0	
	3. 福利厚生費		5,000	5,250	△ 250	
		1. 福利厚生費	4,000	4,250	△ 250	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、子ども子育て手当拠出金等
		2. 福祉費	1,000	1,000	0	職員厚生費
	4. 旅費交通費		500	500	0	
		1. 旅費交通費	500	500	0	
	5. 事務費		15,700	14,570	1,130	
		1. 事務費	4,800	4,000	800	消耗品費、通信運搬費、什器備品費、賃貸料、振替手数料、印刷費
		2. 車両費	1,000	970	30	車検費用、維持管理費、燃料費
		3. 家屋費	9,900	9,600	300	1. 光熱用水費 2,300 2. 会館維持管理費 1,600 3. 環境整備費 1,000 4. 会館賃借料 5,000

支出の部

(単位:千円)

勘定科目			本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項	目				
	6. 会議費		2,000	2,200	△ 200	
		1. 会議費	2,000	2,200	△ 200	議員総会、常議員会、新年賀詞、その他会議費
	7. 渉外費		900	500	400	
		1. 渉外費	900	500	400	祝儀、慶弔費
	8. 公課分担金		5,050	4,950	100	
		1. 公課	2,600	2,600	0	
		2. 分担金	2,450	2,350	100	1. 日本商工会議所 1,500 2. その他関係団体 900 3. 職員研修負担金 50
3. 繰出金	1. 特別会計繰出金		15,900	16,350	△ 450	
		1. 中小企業相談所特別会計繰出金	12,000	9,000	3,000	
		2. 労働保険事務組合一般会計繰出金	0	800	△ 800	
		3. 街路灯特別会計繰出金	0	2,400	△ 2,400	
		4. 商品券事業特別会計繰出金	2,500	2,600	△ 100	
		5. 退職給与資金積立金特別会計繰出金	1,400	1,550	△ 150	
4. その他支出			2	2	0	
	1. 借入金返済等支出		1	1	0	
	2. 出資金		1	1	0	
5. 予備費	1. 予備費		3,902	3,862	40	
		1. 予備費	3,902	3,862	40	
合 計			120,204	132,564	△ 12,360	

令和5年度 中小企業相談所特別会計収支予算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘 定 科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 事業収入		16,230	15,700	530	
	1. 事業賦課金	460	490	△ 30	1. 講習会等参加負担金 100 2. 創業支援事業負担金(東浦町商工会) 360
	2. 手数料	7,740	7,180	560	1. 記帳機械化指導手数料 指導対象 90企業 7,430 2. 小規模企業共済等手数料 310
	3. 受託料	8,030	8,030	0	1. 日商等事業受託料(国) 5,000 2. 小規模事業者持続化補助金受託料(国) 30 3. 伴走型小規模事業者支援推進事業受託料(国) 3,000
2. 交付金		53,420	56,220	△ 2,800	
	1. 県補助金	39,000	41,800	△ 2,800	小規模事業経営支援事業費補助金
	2. 市補助金	11,920	11,920	0	経営改善普及事業費補助金
	3. 助成金	2,500	2,500	0	創業等支援事業費助成金
3. 雑収入		1	1	0	
	1. 雑収入	1	1	0	
4. 繰入金		12,000	9,000	3,000	
	1. 一般会計 繰入金	12,000	9,000	3,000	
5. 繰越金		7,900	14,800	△ 6,900	
	1. 前期繰越金	7,900	14,800	△ 6,900	
合 計		89,551	95,721	△ 6,170	

支出の部

(単位:千円)

勘 定 科 目			本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項	目				
1. 事業費	1. 事業費		38,000	36,790	1,210	
		1. 指導事業費	24,400	23,150	1,250	1. 講習会開催費 700 2. 金融指導事務費 20 3. 記帳機械化指導事務費 600 4. 記帳指導職員設置費 13,500 5. 日商等委託事業費 5,000 6. 創業支援事業費 700 7. 伴走型小規模事業者支援推進事業費 3,000 8. 若手後継者等育成事業費 880
		2. 資質向上対策事業費	300	100	200	中小企業大学校研修費
		3. 特別研究指導費	600	840	△ 240	
		4. 事務局長等設置費	9,700	9,700	0	
		5. 中小企業支援センター設置事業	3,000	3,000	0	
2. 管理費			46,382	48,082	△ 1,700	
	1. 給与費		37,350	38,550	△ 1,200	
		1. 給料	24,000	24,600	△ 600	補助対象職員 6名
		2. 諸手当	3,350	3,950	△ 600	" 扶養手当、地域手当、管理職手当 " 通勤手当、住居手当
		3. 期末勤勉手当	10,000	10,000	0	" 期末・勤勉手当
	2. 時間外勤務手当		1,000	1,000	0	
		1. 時間外勤務手当	1,000	1,000	0	
	3. 福利厚生費		6,210	6,730	△ 520	
		1. 健康保険料	2,150	2,400	△ 250	補助対象職員6名
		2. 厚生年金保険料	3,500	3,800	△ 300	"
		3. 雇用保険料	300	250	50	"
		4. 労災保険料	120	130	△ 10	"
		5. 子ども子育て手当拠出金	140	150	△ 10	"
	4. 旅費交通費		272	272	0	
		1. 指導旅費	200	200	0	
		2. 研修旅費	70	70	0	
		3. 会議所基礎研修出席旅費	2	2	0	
	5. 事務費		1,500	1,500	0	
		1. 指導事務費	1,500	1,500	0	消耗品費、通信運搬費、図書費、賃貸料、什器備品等
	6. 公課分担金		50	30	20	
		1. 分担金	50	30	20	関係団体負担金
3. 繰出金	1. 特別会計繰出金		4,500	4,600	△ 100	
		1. 退職給与資金積立金特別会計繰出金	4,500	4,600	△ 100	
4. 予備費	1. 予備費		669	6,249	△ 5,580	
		1. 予備費	669	6,249	△ 5,580	
合 計			89,551	95,721	△ 6,170	

令和5年度 共済事業特別会計収支予算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 手数料		28,220	28,500	△ 280	
	1. 取扱手数料	28,220	28,500	△ 280	1. 中小企業共済 3,270 2. 風車共済 17,800 3. 大型・総合・アクセス・風車等事務手数料 5,100 4. 業務災害補償プラン・ビジネス総合保険等 2,050
2. 雑収入		1	1	0	
	1. 雑収入	1	1	0	
3. 繰越金		600	7,000	△ 6,400	
	1. 前期繰越金	600	7,000	△ 6,400	
合 計		28,821	35,501	△ 6,680	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 事業費		1,110	1,100	10	
	1. 事業推進費	210	200	10	共済事業キャンペーン費
	2. 支部活動費	900	900	0	
2. 給付金		3,500	3,000	500	
	1. 見舞金等 給付金	3,500	3,000	500	風車共済見舞金、祝い金、定期健康診断補助
3. 給与費		4,450	4,350	100	
	1. 給料	2,800	2,750	50	1名
	2. 諸手当	500	500	0	同上 地域手当、通勤手当
	3. 期末勤勉手当	1,150	1,100	50	同上 期末・勤勉手当
4. 時間外手当		200	200	0	
	1. 時間外勤務手当	200	200	0	
5. 福利厚生費		760	750	10	
	1. 福利厚生費	760	750	10	同上 社会保険料等
6. 管理費		1,170	1,170	0	
	1. 支払手数料	700	700	0	口座振替手数料 運営手数料等
	2. 旅費交通費	120	120	0	
	3. 事務諸費	300	300	0	ベストウィズクラブ会費
	4. 会議費	50	50	0	
7. 繰出金		17,400	24,400	△ 7,000	
	1. 一般会計繰出金	17,000	24,000	△ 7,000	
	2. 退職給与資金 積立金特別会 計繰出金	400	400	0	
8. 予備費		231	531	△ 300	
	1. 予備費	231	531	△ 300	
合 計		28,821	35,501	△ 6,680	

令和5年度 労働保険事務組合一般会計収支予算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 事業収入		4,500	3,900	600	
	1. 事務手数料	4,500	3,900	600	一人親方分含む
2. 交付金		2,902	2,705	197	
	1. 報奨金	2,900	2,700	200	労働保険事務組合報奨金(愛知労働局)
	2. 適用促進活動費	2	5	△ 3	
3. 雑収入		1	1	0	
	1. 雑収入	1	1	0	
4. 繰入金		0	800	△ 800	
	1. 一般会計繰入金	0	800	△ 800	
5. 繰越金		1,800	1,300	500	
	1. 前期繰越金	1,800	1,300	500	
合 計		9,203	8,706	497	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 給与費		5,400	5,350	50	
	1. 給料	3,400	3,350	50	1名
	2. 諸手当	600	600	0	同上 地域手当、通勤手当
	3. 期末勤勉手当	1,400	1,400	0	同上 期末・勤勉手当
2. 時間外勤務手当		250	250	0	
	1. 時間外勤務手当	250	250	0	
3. 福利厚生費		920	900	20	
	1. 福利厚生費	920	900	20	同上 社会保険料等
4. 管理費		860	1,260	△ 400	
	1. 電算処理費	300	300	0	
	2. 事務諸費	550	950	△ 400	
	3. 旅費交通費	10	10	0	
5. 繰出金		1,450	450	1,000	
	1. 一般会計繰出金	1,000	0	1,000	
	2. 退職給与資金 積立金特別会 計繰出金	450	450	0	
6. 予備費		323	496	△ 173	
	1. 予備費	323	496	△ 173	
合 計		9,203	8,706	497	

令和5年度 特定退職金共済事業特別会計収支予算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 共済事業掛金収入		7,000	7,000	0	
	1. 保険料	7,000	7,000	0	
2. 事業収入		216	211	5	
	1. 事務手数料	216	211	5	599口×1,000円×12ヶ月×0.03
3. 企業年金契約給付金受入		100	100	0	
	1. 給付金受入	100	100	0	
4. 雑収入		1	1	0	
	1. 雑収入	1	1	0	
5. 繰越金		300	1,000	△ 700	
	1. 前期繰越金	300	1,000	△ 700	
合 計		7,617	8,312	△ 695	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 事業費		50	50	0	
	1. 事業推進費	50	50	0	事業推進キャンペーン費
2. 共済事業給付金		100	100	0	
	1. 退職金	100	100	0	
3. 管理費		70	60	10	
	1. 事務諸費	60	50	10	事務用品、口座振替手数料等
	2. 旅費交通費	10	10	0	
4. 支払保険料		7,000	7,000	0	
	1. 共済事業積立金	7,000	7,000	0	
5. 繰出金		0	1,000	△ 1,000	
	1. 一般会計繰出金	0	1,000	△ 1,000	
6. 予備費		397	102	295	
	1. 予備費	397	102	295	
合 計		7,617	8,312	△ 695	

令和5年度 商品券事業特別会計収支予算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
款	項				
1. 事業収入		210,400	150,100	60,300	
	1. 売上	210,000	150,000	60,000	
	2. 登録料	400	100	300	非会員参加負担金
2. 交付金		44,500	32,600	11,900	
	1. 補助金(県、市)	44,500	32,600	11,900	プレミアム分42,000、事務費2,500
3. 雑収入		1	1	0	
	1. 雑収入	1	1	0	預金利息
4. 繰入金		2,500	2,600	△ 100	
	1. 一般会計繰入金	2,500	2,600	△ 100	
合 計		257,401	185,301	72,100	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額		備 考
款	項				
1. 事業費		252,000	180,000	72,000	
	1. 商品券発行費	252,000	180,000	72,000	商品券費
2. 事務費		5,000	5,200	△ 200	
	1. 印刷費	1,500	3,100	△ 1,600	
	2. 広告宣伝費	400	400	0	
	3. 消耗品費	1,100	700	400	
	4. 事務諸費	2,000	1,000	1,000	
3. 予備費		401	101	300	
	1. 予備費	401	101	300	
合 計		257,401	185,301	72,100	

令和5年度 財政調整資金積立金特別会計収支予算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位：千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 繰越金		207,984	207,912	72	
	1. 前期繰越金	207,984	207,912	72	預金198,245 国債 9,739
2. 雑収入		1	1	0	
	1. 預金利息	1	1	0	
合 計		207,985	207,913	72	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 財政調整支出金		1	1	0	
	1. 財政調整支出金	1	1	0	
2. 財政調整資金 積立金		207,984	207,912	72	
	1. 財政調整資金 積立金	207,984	207,912	72	
合 計		207,985	207,913	72	

令和5年度 退職給与資金積立金特別会計収支予算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位：千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 繰入金		6,750	7,000	△ 250	
	1. 一般会計繰入金	1,400	1,550	△ 150	
	2. 中小企業相談所 特別会計繰入金	4,500	4,600	△ 100	
	3. 共済事業特別会計 繰入金	400	400	0	
	4. 労働保険事務組合 一般会計繰入金	450	450	0	
2. 雑収入		1	1	0	
	1. 預金利息	1	1	0	
3. 退職給与資 金積立金		81,931	75,015	6,916	
	1. 退職給与資金積立金	81,931	75,015	6,916	
合 計		88,682	82,016	6,666	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 退職給与金		1,205	1	1,204	
	1. 退職給与金	1,205	1	1,204	
2. 退職給与資 金積立金		87,477	82,015	5,462	
	1. 退職給与資金積立金	87,477	82,015	5,462	
合 計		88,682	82,016	6,666	

令和5年度 労働保険事務組合労働保険料特別会計収支予算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 受取保険料		70,000	61,000	9,000	
	1. 労働保険料	70,000	61,000	9,000	徴収保険料
合	計	70,000	61,000	9,000	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 支払保険料		70,000	61,000	9,000	
	1. 労働保険料	70,000	61,000	9,000	納付保険料
合	計	70,000	61,000	9,000	

大府商工会議所定款抜粋

(目的)

第1条 本商工会議所は、地区内における商工業者の共同社会を基盤とし、商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資し、もってわが国商工業の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第7条 本商工会議所は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。
- (2) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。
- (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。
- (4) 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。
- (5) 商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。
- (6) 輸出品の原産地証明を行うこと。
- (7) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。
- (8) 商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。
- (9) 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。
- (10) 博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催のあつせんを行うこと。
- (11) 商事取引に関する仲介又はあつせんを行うこと。
- (12) 商事取引の紛争に関するあつせん、調停又は仲裁を行うこと。
- (13) 商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。
- (14) 商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。
- (15) 商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること。
- (16) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。
- (17) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。
- (18) 前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

大 府 商 工 会 議 所

大府市中央町五丁目 70 番地

TEL 〈0562〉 47 - 5000 (代表)

FAX 〈0562〉 46 - 9030